

佐藤外務副大臣のアルジェリア訪問

12月23日(土)～24日(日)



12月23日から24日にかけて、佐藤外務副大臣がアルジェリアを訪問しました。23日には、当地日本企業関係者及びヌーレディン・アヤディ外務次官と意見交換をした他、24日には、ユーセフ・ユースフィー産業・鉱業大臣及びアブデルカデル・メサヘル外務大臣とそれぞれ会談し、経済、政治、治安・テロ対策、文化・スポーツ等様々な分野における二国間関係の強化や国際・地域情勢につき議論しました。

メサヘル外務大臣との共同記者会見は、25日付エル・ムジャヒド紙及びシャアブ紙一面トップに掲載されました。

平成29年天皇誕生日祝賀レセプションの開催

12月13日(水)





12月13日、藤原大使は、12月23日の天皇陛下誕生日に先立ち、天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。同レセプションには、ラウイア財務大臣及びメバルキ職業訓練・専門教育大臣が政府代表として出席された他、ゼルー二元副首相、政府関係者、議会関係者、各国大使館関係者、大学関係者、文化関係者、報道関係者、ビジネス関係者等多岐の分野から261名の方々に出席いただきました。

冒頭のスピーチにおいて、藤原大使から、日アルジェリア外相会談、ジャパン・ビジネス・デイ、ジャパン・ウィークの開催等、外交樹立55周年である2017年の日アルジェリア関係の進展を紹介した他、官民合同委員会の設置の検討や投資協定の早期締結と共に新たな産業基盤の整備や人材育成の面で協力を進め、日本とアルジェリアの間で新たなウィン・ウインのパートナーを築いていく、2020年東京オリンピックへ向け、スポーツ分野を含めた国民レベルの交流を活発にし、二国間関係に新たな1頁を築いていきたい旨述べました。

藤原大使夫人他当館館員夫人によるインターナショナルバザーへの参加

10月21日(土)



10月21日、藤原大使夫人他当館館員夫人は、アルジェリア外交団夫人の会が文化省の協力の下開催したインターナショナルバザーに参加し、日本の伝統的な小物を販売しました。

日本のブースには、ミフビ文化大臣も訪れました。売り上げは、アルジェリアで活動するNGO等に寄付される予定です。

藤原大使のジャパン・ビジネスデー、第4回日アルジェリア・ビジネスクラブへの出席

10月11日(水)



10月11日、アルジェリア商工会議所(CACI)、日アルジェリア・ビジネスクラブ、在アルジェリア日本国大使館の共催でジャパン・ビジネスデーが開催され、ベナモール CACI 会長、メキデシュ日アルジェリア・ビジネスクラブ会長、JETRO パリ事務所片岡所長、当地日本企業及び当地ビジネス関係者、メディア関係者その他約 150 名が出席しました。

藤原大使から、我が国の TICAD を通じた経済協力、最近の日本企業の当地活動状況等を説明するとともに、日本の自動車企業の進出や産業分野での人材育成等により、今後一層両国経済関係を強化させていきたい旨述べました。同会合の様子は、当日夕の TV、翌日のエル・ムジャヒド紙、ル・ジュールヌ・アンデポンダン紙、エル・マッサ紙等の当地メディアでも大きく取り上げられました。

また、同日午後には第4回日アルジェリア・ビジネスクラブが開催され、自動車産業、エネルギー分野、農業加工品分野等におけるパートナーシップの可能性につき議論が行われました。

同日夕刻には大使公邸において、日アルジェリアのビジネス関係者による交流が行われました。

藤原大使のシアフィフ国民議会外務・協力・移民委員長への表敬

10月10日(火)



10月10日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、シアフィフ国民議会外務・協力・移民委員長を表敬し、議員交流を初めとする日・アルジェリア間の経済関係の強化について意見交換を行いました。

藤原駐アルジェリア日本国大使のマスカラ県、オラン県及びアイン・テムシエント県出張

9月24日(日)～9月26日(火)

9月24日から9月26日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、マスカラ県、オラン県及びアイン・テムシエント県を訪問しました。



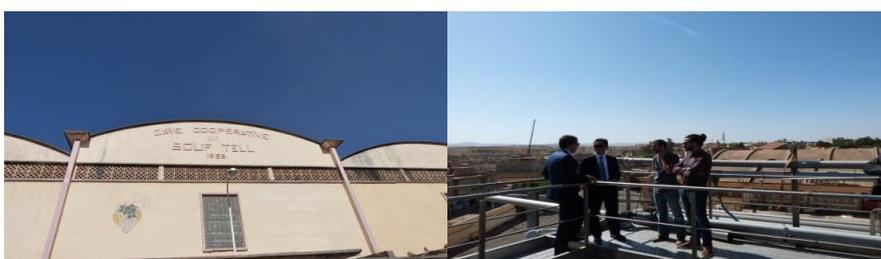
24日、藤原大使は、レブカ・マスカラ県知事と会談を行いました。続いて、マスカラ知的障がい者支援イフサヌ団体にて、マスカラ県知事、マスカラ県議会議員、マスカラ郡長、マスカラ県社会活動部長の臨席の下、草の根・人間の安全保障無償資金協力の引き渡し式を開催しました。イフサヌ団体は、日本国から供与された38,792ユーロで音楽機材や音響映像機材等を購入し、同団体の活動で使用されます。



25日、藤原大使は、オラン県にあるSGCO社を訪問したの続き、ベンハラトゥス・オラン工科大学学長等と意見交換を行いました。また、シェリフィ・オラン県知事と会談しました。



26日、藤原大使は、アイン・テムシエント県にあるSGCO社のワイン貯蔵施設を訪問しました。



藤原駐アルジェリア日本国大使のティジ・ウズ県出張

9月11日(月)～9月12日(火)

9月11日から9月12日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ティジ・ウズ県を訪問しました。



11日、藤原大使は、ブーデルバリ・ティジ・ウズ県知事と会談を行いました。続いて、テッサ・ティジ・ウズ大学学長及びティジ・ウズ県商工会議所等と意見交換を行いました。



続いて、藤原大使は、11日、手工業館を視察した他、12日、ティジ・ウズ・ムジャヒディン博物館を視察し、意見交換を行いました。



藤原大使のユースフィー産業・鉱業大臣への表敬

9月10日(日)



9月10日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ユースフィー産業・鉱業大臣を表敬し、自動車分野や人材育成協力をはじめとする日・アルジェリア間の経済関係の強化について意見交換を行いました。

藤原駐アルジェリア日本国大使のティパザ県訪問

8月24日(木)

8月24日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ティパザ県を訪問しました。



ゲライ・ティパザ県知事、アシュール・ティパザ県議会議長及びモカデム・ティパザ市議会議長他と会談した後、国営ブドウ製品販売公社(ONCV)を訪問しました。

藤原大使の国連テロ対策センター(UNCCT)及びAUテロ調査・研究センター(CAERT)主催セミナー開会式出席

8月23日(水)



8月23日、藤原大使は、アルジェにて開催された、国連テロ対策センター(UNCCT)及びAUテロ調査・研究センター(CAERT)主催の身代金目的誘拐対策セミナーの開会式に出席しました。同セミナーは、平成27年度補正予算の枠組みで日本からの資金協力により、23日から24日の二日間実施され、アルジェリア警察、司法省、財務省、対外治安総局、外務省関係者の他、国連関係者、周辺アフリカ諸国政府関係者、テロ対策専門家等約40名が参加しました。

開会式におけるスピーチで、UNDP常駐代表、アルジェリア政府代表、CAERT代表から日本の支援に対する謝意が述べられました。藤原大使からは、地域のテロ対策におけるアルジェリアの役割に敬意を表した他、日本は、G7やTICADの中でアフリカや世界中の平和と安定に貢献していることを紹介し、これからも国連やAUといった機関と協力を強化する旨述べました。

同セミナー開会式の模様は、エル・ムジャヒド紙、シャアブ紙等当地各メディアで取り上げられました。

藤原大使のベツダ産業・鉱業大臣への表敬

7月26日(水)



7月26日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ベツダ産業・鉱業大臣を表敬し、自動車分野をはじめとする日・アルジェリア間の経済関係の強化について意見交換を行いました。

藤原大使のラウイア財務大臣への表敬

7月11日(火)



7月11日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ラウイア財務大臣を表敬し、日・アルジェリア間の経済協力の強化について意見交換を行いました。

碓井俊樹氏の外務大臣表彰の受賞

7月6日(木)



7月6日、外務省は、飯倉公館において平成29年度外務大臣表彰式及びレセプションを開催しました。外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層に願いをすることを目的としたものです。

碓井俊樹氏は音楽を通じた日本とアルジェリアとの相互理解の促進という功績が認められ、平成29年度の外務大臣表彰を受賞しました。

日アルジェリア外交関係樹立55周年記念式典の開催

7月4日(火)



日本がアルジェリアを国家承認した7月4日、アルジェリア文化省協賛の下、日・アルジェリア外交関係樹立55周年を祝す記念式典が、国立書道博物館と当館との共催で世界遺産のムスタファ・パシャ宮殿にて開催され、ゼルーニ元副首相をはじめユースフィー大統領府顧問、当国外務省関係者、両国の関係発展に貢献した関係者、メディア関係者その他約60名が出席しました。同式典では、日本から来訪した森宗勇 日仏茶道交流会代表が備前焼の木村英昭同会副代表とともに呈茶を、大隈優子同副代表が書道のデモンストレーションを行い、エルメグベド・アラビア語書道家が自作のアラビア語書道を紹介しました。

冒頭のスピーチにて藤原大使から、独立前から続く両国の友好協力関係について触れた上、日・アルジェリア関係は55周年を迎え新たな成熟した段階に入りつつあり、一期一会の精神に基づく茶道、10月の「ジャパン・ウィーク」、及び2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた柔道等のスポーツ交流等を通じ、両国関係を一層深化させていきたい旨述べました。同記念式典の様子はエル・ムジャヒド紙、ル・ジュールヌ・アンデポンダン紙、シャアブ紙等の当地メディアで取り上げられました。

平成29年度自衛隊記念日及び日・アルジェリア外交関係樹立55周年記念レセプション開催

7月2日(日)



7月2日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、自衛隊記念日及び日・アルジェリア外交関係樹立55周年記念レセプションを開催しました。同レセプションには、元閣僚、大統領府、外務省及び国防省等の政府関係者、上下両院議員、各国大使、駐在武官、大学関係者、文化関係者、報道関係者、ビジネス関係者等多岐な分野から171名の方々に出席いただきました。両国歌演奏後、藤原大使はスピーチを行い、以下のとおり言及しました。

1 自衛隊は、1954年7月1日に創設され、今年で63年目を迎えました。また、1962年7月4日に日本はアルジェリアを国家承認し、今年、日本とアルジェリアの外交関係樹立55周年を迎えております。本日はこれを記念しレセプションを開催できることを喜ばしく思います。

2 日本は、第2次大戦後70年以上にわたり、平和国家として歩み、アジア太平洋地域や国際社会の平和と安定に貢献してきました。自衛隊は、安倍政権の積極的平和主義の方針のもと、今まで以上に世界の平和と繁栄のために積極的な役割を果たすこととなります。

現在、ジブチを拠点としてソマリア沖・アデン湾における海賊対処任務を行っていますが、南スーダン任務終了を受け、新たな平和維持活動の可能性について、アフリカを中心として検討中です。日本はアルジェリアが世界や地域の平和と安定の実現に日々貢献していることを評価しています。これからは、両国間の防衛協力分野についても、より一層の協力・交流を深めるべく尽力していく考えです

3 日本とアルジェリアの関係は55周年を迎え、成熟したものになっております。両国間には1958年のFLN極東事務所の東京開設に見られるように、独立前からの長い友好の歴史を有しています。政治面では、定期的に政策協議を実施するとともに、治安テロ対策協議を開始し、治安やテロ対策分野での協力を強化しています。本年は今後の両国関係進展に指針を与える閣僚レベルの対話を行いたいと考えています。

4 経済面でも両国関係には新たな活力が生まれています。昨年発足した日アルジェリア・ビジネスクラブは両国経済関係発展の触媒の役割を果たしています。両政府間では官民合同の新たな経済合同委員会設置に向けた話し合いを進めています。

5 最後に文化やスポーツを通じ国民レベルの交流を増やしていくことが重要です。7月4日には日本の茶道家や書道家の協力を得て、アルジェ書道博物館で55周年記念式典を開催します。アルジェリアでは日本の武道の人気がありますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、柔道、空手といったスポーツ分野での交流を活発にしていきたいと考えています。秋には「ジャパン・ウィーク」として、書道、漫画などの日本文化紹介行事を行う予定です。日本では先般、日 AU 議員連盟内に日・アルジェリア友好委員会が設立されたところであり、これを機に両国間の交流が活発化することを期待しています。

その他、本レセプションでは、日アルジェリア間の55年の友好の歴史についての展示を行うとともに日本企業展示コーナー及び日本観光コーナーを設け、来場者に日本製品や技術を紹介しました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力引き渡し式の開催

5月23日(火)



5月23日、当館及びガルダイア県NGOタゲミ(TAGAMI)は、タゲミ本部にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力の引き渡し式をブーヌーラ郡長、ガルダイア県社会活動部長、アルジェリア外務省代表の臨席の下、開催しました。タゲミは、日本国から供与された60,694ユーロで白内障患者用の手術用顕微鏡等の医療機器を購入し、当該医療機器は、今後の専門医による白内障巡回診療・手術活動に使用されます。

第三回日・アルジェリア・ビジネスクラブの開催

5月9日(火)



5月9日、在アルジェリア日本大使館において、第三回日・アルジェリア・ビジネスクラブが開催されました。第三回目となる会合では、片岡 JETRO パリ事務所所長による日・アルジェリア経済関係と JETRO のアルジェリアにおける活動に関するプレゼンテーション及びケラール金融コンサルタントによる新投資法に関するプレゼンテーションが行われました。

第50回国際見本市の開催

5月8日(月)-13日(土)



5月8日、アルジェのSAFEX国際展示場において、第50回国際見本市が開催されました。同見本市は13日まで開催され、国内外から765社の企業が参加し、日本からは日本貿易振興機構(JETRO)の他、日本企業3社が参加しました。

ララス・アルジェリア柔道連盟新会長による大使表敬

3月21日(火)



3月21日、藤原大使は、ララス・アルジェリア柔道連盟新会長の表敬を受け、アルジェリアにおける柔道の発展について協議しました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式の開催

3月26日(日)



3月26日、在アルジェリア日本国大使公邸にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名式が開催されました。今回の協力は、マスカラ県のイフサヌ団体に対し、知的障がい者施設の充実のため38,792ユーロを供与するもので、アルジェリア外務省代表の臨席の下、藤原大使とベナイサ代表との間で署名が行われました。つv

藤原駐アルジェリア日本国大使のセティフ県及びボルジ・ブ・アレリジ県出張

3月12日(日)～3月14日(火)

3月12日から3月14日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、セティフ県及びボルジ・ブ・アレリジ県を訪問しました。



12日、藤原大使は、2013年に日本大使館が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組で協力を行った天国の鳥協会を訪問しました。



13日、藤原大使は、国立文化保護財産管理利用局の案内の下、世界遺産であるジェミラ遺跡を訪れました。続いて、マスクリ・セティフ県知事と会談し、また、サイドゥーン・ボルジ・ブ・アレリジ県知事と会談しました。



14日、藤原大使は、ボルジ・ブ・アレリジ県にあるコンドール・グループを訪問しました。



藤原駐アルジェリア日本国大使のアドラール県出張

2月27日(月)～3月1日(水)

2月27日から3月1日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、アドラール県を訪問しました。



28日、藤原大使は、リマニ・アドラール県知事と会談を行いました。続いて、エル・ベクリ県議会議長と会談を行った他、アドラール県商工会議所及びバフマウィ・アドラール大学長等と意見交換を行いました。



また、藤原大使は、フォガラやザーウィアの古文書館を視察した他、ザーウィアの指導者やエル・ベクリ県議会議長等と昼食をとりながら意見交換を行いました。



藤原大使のシェルグム農業・地方開発・漁業大臣への表敬

1月24日(火)



1月24日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、シェルグム農業・地方開発・漁業大臣を表敬し、日・アルジェリア関係、特に漁業や農業分野における二国間協力の強化について意見交換を行いました。

平成29年新年会の開催

1月24日(火)



1月24日(火)、大使公邸において、新年会が開催されました。冒頭スピーチにて、藤原大使から、大使館として、邦人の皆様の安全対策及び日本企業支援に全力をあげていきたい、本年は日アルジェリア外交関係樹立55周年にあたり大使館及び在留邦人皆で盛り上げていきたい旨述べました。